【県指定・史跡】

祇園之洲台場跡（ぎおんのすだいばあと）

（令和４年４月 26 日指定）

祇園之洲台場跡

○　**所在地**　　鹿児島市清水町 10 番２外

○　**所有者**　　鹿児島県，鹿児島市

○　**特　徴**

西欧列強の艦船のあいつぐ来航に危機感を強めた薩摩藩は，弘化３（1846）年から海防のため台場の整備に取り組みました。祇園之洲台場は嘉永６（1853）年に第 11 代藩主島津斉彬時代に築かれた台場です。

文久２（1862）年，武蔵国生麦村（現横浜市）で薩摩藩士によるイギリス人殺傷事件（生麦事件）が起きると，文久３（1863）年，イギリス艦隊は薩摩藩に報復攻撃を行い，「薩英戦争」が勃発（ぼっぱつ）しました。祇園之洲台場跡は，この薩英戦争で，イギリス艦隊に砲撃を加え，激戦地となった場所です。平成 22 年度の発掘調査で，薩英戦争当時の石垣や砲座・土塁（どるい）などが広く残存していることが確認されました。

薩英戦争は，西欧の進んだ科学技術を積極的に導入するきっかけとなった戦争であり，それに関連する遺構が良好な状態で残っている祇園之洲台場跡は，日本の近代化の過程を知る上で大変貴重な遺跡です。